

中学生の放課後支援について

三本柱 1 部活動改革推進

【R5年度 取組成果】

- 豊島区部活動地域連携推進協議会を設置 (R5.5月～)
- モデル事業「としま土曜部活」開始 (R5.10月～)
- 豊島区学校部活動地域連携・地域移行推進計画-第1次-策定 (R6.3月末予定)
- R6年度学校部活動の地域連携に向けた教員へのアンケート実施(2月～3月)



▶としま土曜部活 ～地域クラブ活動の推進～

<目的> 地域クラブの推進により、生徒の知識・技術の向上と部活動の新たな選択肢づくりを目的とする。

<メンバー> 区立中学校に通う生徒

<指導者> 委託事業者・区内大学の協力

<実施状況>

R6・3・16 (15時～) としま土曜部活合同発表会開催

部名	内容	参加数	活動数	指導者	活動場所
ダンス部	HIPHOPを踊ろう!	12名	20回	JR東日本スポーツ(株)	池袋中
プログラミング部	ドローンを飛ばそう!	9名	10回	(株)ドローンアイティ	区役所
音楽部	みんなで歌おう!	16名	5回	東京音大指揮専攻主管: ライフウィズミュージック	東京音大

▶学校部活動地域連携・地域移行推進計画 策定

第1次計画 部活動推進期間の方針・体制・推進スケジュール等

第2次計画 アンケートやヒアリング等をふまえた具体的な取組と課題の整理、成果指標

▶部活動改革推進期間 スケジュール

令和5年度	令和6年度	令和7年度
●豊島区部活動地域連携推進協議会設置	●推進計画 第1次策定	●推進計画 第2次策定
●地域クラブ「としま土曜部活」施行開始	—————	順次拡充 —————
●教員実態調査	●生徒・保護者アンケート	
↳反映	●地域連携の推進	●人材バンク検討実施

三本柱 2 学習支援

【R5年度 取組成果】

- としま地域未来塾の運営を、指導課から放課後対策課へ所管変更
- 居場所要素を重視した「無料学習支援」として社会教育指導員が担当
- 6月から区内3か所で土曜日に開催
- 地域の学習支援員により自主学習を支援
- レクレーションタイムで仲間づくり



※年間登録生徒数 36名

6月～12月 (計94回)	教育センター	南長崎第一区民集会所	西巣鴨区民集会所	計
利用者数(延べ)	193名	76名	65名	334名

▶(地域のモデル実施に協力) 夏休みの学習支援&子ども食堂

開催日: 8月夏休み中 計5回実施

時間: 水曜日 17:00～19:00

場所: 高田地域 (社福法人フロンティア1階カフェ)

運営: 高田地域の方による子ども食堂 + 支援団体エールフォールによる学習支援



▶今後の取組

- ・校内居場所と連携した「平日の放課後」に、としま地域未来塾の開催を検討
- ・事業の普及啓発と参加者増に備えた学習支援員の確保に人材バンクを活用

三本柱_3 居場所づくり

【R5年度 取組成果】

- 豊島区初の中学校内居場所「にしまるーむ」の設置
- 区とNPOが協定締結により実施
- 企業による家具・インテリアの寄付でリニューアル
- 第1部（13時半～）で、不登校傾向の生徒にも対応
- 運営会議「にしまるーむ応援団」の開催
- 校内居場所利用者アンケートの実施



▶ 運営内容

開催日：火・金曜日・他1日の週3回
 時間：第1部 13:30～15:00 第2部 15:30～17:45
 場所：西池袋中学校 1階ホール

▶ にしまるーむ応援団

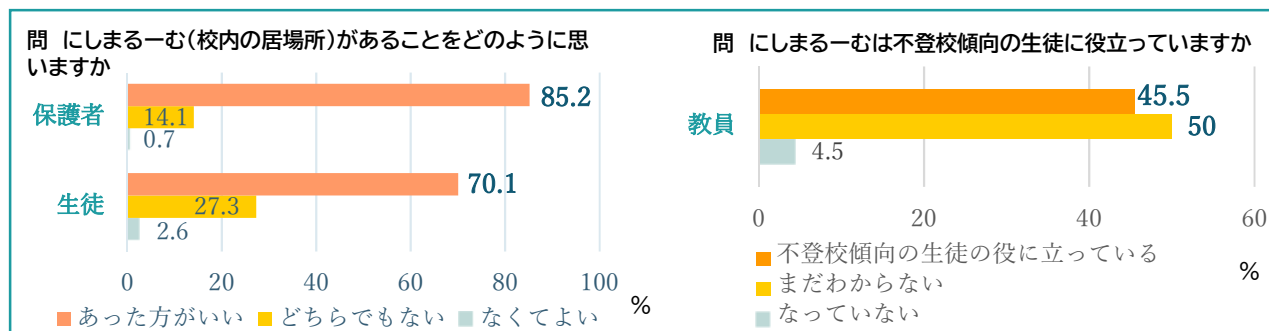
開催実績：R5年6月・8月・R6年1月
 メンバー：学校運営協議会・元PTA・西池袋中・放課後対策課・NPO豊島WAKUWAKUネットワーク

▶ 利用実績

5/23～1/30 (計38回)	1部	2部	計
利用者数(延べ)	63名	1,409名	1,472名

▶ 視察受入れ 13組 (50人) 主任児童委員・豊島区議・他区校長・立教大学・日本テレビ等

▶ 利用者アンケート結果 対象：西池袋中生徒・保護者 490名,教員 33名



▶ 居場所づくりスケジュール

● R5 西池袋中学校内居場所実施・他校ヒアリング ——— ● R6 他事業との調整(学習支援・不登校対策)→順次実施

● これからの課題・取組

三本柱の推進

＝ 放課後支援の充実

＝ すべての子供たちの可能性を引き出し、Well-being(ウェルビーイング)を実現

(1) 部活動改革の推進

課題：教員の負担軽減とやりがいのバランス
 ・持続可能な部活動運営と外部指導者の確保

- ・地域クラブ(としま土曜部活)の推進
- ・人材バンクによる外部指導者登用
- ・休日の指導者委託・合同部活の検討



(2) 校内居場所と連携した学習支援を検討

課題：事業の普及啓発・学習支援員の確保

- ・平日放課後に校内居場所での実施
- ・人材バンクを活用し、支援員を確保

(3) 校内居場所づくりの推進

課題：中学生の居場所の必要性和校内居場所の理解・促進

- ・各校の実情に合わせた居場所を推進
- ・地域・学校等との協働による運営
- ・不登校生徒のケア・支援